



新年のごあいさつ

新十津川町長 植田 満

新年明けましておめでとうございます。

希望に満ちた輝かしい平成26年の新春を、ご健勝のうちにお迎えになられたことと心よりお喜び申し上げますとともに、昨年、町政に賜りましたご支援に対し厚くお礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、6月に日本の象徴である富士山が世界文化遺産に登録され、また9月には2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市に東京が選ばれました。

このことは、日本の将来につながる明るい話題であったと考えております。

7月には、日本の環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加が正式決定し、国内においては、減反政策が5年後に廃止される見通しとなっております。

また、社会保障と税の一体改革に向け、消費税引き上げが4月から予定されるなど、日本の農業・経済政策は大きな転換期を迎えているところでもあります。

そのような中、本町の基幹作物である水稲は、3年連続の豊作となりました。

高品質でおいしい「コメ」を、安定的に生産されている生産者や関係団体の不断の努力に心から敬意を表すところでございます。

本町の人口は、昨年7千人を切りました。

人口の減少は、まちづくりや地域経済に大きな影響を及ぼしますが、人口減少下においても持続

可能なまちづくりを目指し、本年は、次の3つの柱を重点として取り組んでまいります。

安全・安心のまちづくり

近年の異常気象により、予想できない災害が頻発するようになってきております。町民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを最大の目標に、くらしの安全確保に重点を置き、地域住民が共に支えあう地域づくりを進めるとともに、芸術、文化、スポーツ活動などを支援し、心豊かで健康に過ごすための環境整備に努めてまいります。

魅力と活力あるまちづくり

北海道日本ハムファイターズの金子誠選手と今浪隆博選手が本町の応援大使に決まりました。お二人には、今年1年間多くの町民の皆さまと交流していただくとともに、町の魅力や情報の発信についてお手伝いをお願いしたいと考えております。

そのためにも、良質な食を生む基盤づくり、地域を支える商工業の振興とわがまちの魅力を活かした観光づくりを推進してまいります。

自然と共生する持続可能なまちづくり

自然環境の保全および循環型社会の形成を進め、素晴らしい自然環境を後世にしっかりと引き継いでまいります。

私が、町長に就任して2期8年の最終の年を迎えます。本年も町民の皆さま並びに町を応援してください。皆さまと共に力を合わせ、力強く駆けつける午（馬）年にする所存でありますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新十津川の百年

〈120年前 1894年・明治27年〉

6月 上徳富シントウに祠を建て玉置神社をまつる

世界 日清戦争

〈108年前 1906年・明治39年〉

9月 新十津川酒造株式会社創立
国内 大日本麦酒株式会社設立

（札幌麦酒・日本麦酒・大阪麦酒が合併）

〈96年前 1918年・大正7年〉

4月 新十津川信用組合改組設立

総会

7月 総富地・学園間徳富川橋竣工

8月 新十津川衛生組合設立

世界 ドイツ降服第一次世界大戦終結

国内 終結

〈84年前 1930年・昭和5年〉

9月 橋本町石狩川岸で軌馬速歩競争開催

国内 東京―神戸間特急「つばめ」運転開始

〈72年前 1942年・昭和17年〉

8月 新十津川森林組合創立総会

10月 新竜橋落成式

世界 日独伊軍事協定調印

〈60年前 1954年・昭和29年〉

9月 台風15号による被害甚大

10月 新十津川ダム起工式

国内 青函トンネル工事起工式挙

行



新年のごあいさつ

新十津川町議会議長

長谷川秀樹

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。日ごろより町政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

議長就任後4年目を迎えますが、この間、より身近な議会、開かれた議会の実現を念頭に置き、議会運営に努めてまいりました。初春を迎え、新十津川町のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにいたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年を振り返りますと議会では、平成23年1月に制定された「新十津川町まちづくり基本条例」に掲げる理念の下、一昨年に引き続き2回目の議会報告会を開催いたしました。報告会には、多くの町民の方にお越しいただき、私たちの議会活動の報告のほか、参加者の皆さまから、明日へと繋がる貴重な町づくりに対する意見をいただいたところでございます。

また、報告会では、昨春の「議員定数と報酬について意見を聴く会」で町民の皆さまからいただいた意見を踏まえ、検討した結果、議会として、次の改選期において現在の定数と報酬を維持することとしたことを報告させていただいたところでございます。

さて、近年の地方分権の進展に伴い、自己決定、自己責任の範囲は拡大し、住民により身近な町の

役割は、ますます重要になってきております。そのような状況の中、本町におきましては、安全・安心なまちづくり、人口減少や少子高齢化への対応、産業の振興、自然環境の保全など、克服すべき多くの課題を抱えております。特に産業の分野では、3年連続となる豊穰の秋を迎えた本町の基幹産業であります農業におきまして、40年以上続いてきた米の生産調整の廃止が決定するなど、農業政策の大幅な転換が見込まれており、今後の推移に目が離せない状況にあります。

議会といたしましても、これらの現状を踏まえつつ、二元代表制の下、町長、その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張ある関係を保ちながら、町政の発展と町民の皆さまの福祉の向上に寄与していかなければなりません。今任期の最終年度を迎えます本年におきましては、初心に立ち返り、職務を全うするとともに、さまざまな町政課題の解決に向け、日々の活動や議会報告会、各種団体との意見交換会等とおし、町民の皆さまの声を十分にお聴きし、しっかりとした議論を重ねて行きたいと考えます。さらに、大きく流れていく時代の潮流の中で、自信と誇りとこのまちを愛する心を持ち続け、誠心誠意尽くしてまいれる所存であります。

新春に臨み、町民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして、幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

〈48年前 1966年・昭和41年〉

3月 新十津川町史（70年史）完成、発刊

7月 町営プール完工式、プール開き

国内 北海道の木にエゾマツ決定

〈36年前 1978年・昭和53年〉

12月 花月小学校新築校舎竣工

国内 北電火力発電所の一号機本操業

〈24年前 1990年・平成2年〉

5月 NHKドラマスペシャル「新十津川物語」ロケ隊、原作者川村たかし氏一行来町

6月 開町100年記念式典

8月 大相撲新十津川場所

10月 開町100年記念植樹祭

国内 夕張市の三菱南大夕張炭鉱閉山

世界 ソ連大統領にゴルバチョフ選出

〈12年前 2002年・平成14年〉

3月 滝新橋渡橋式

6月 新十津川土地改良区50周年記念式典

12月 開拓記念館の絵馬を町有形文化財に指定

国内 定期預金のペイオフ解禁

世界 ソルトレイクシティオリピック